

1 活動名 「健康手帳について」 徳島市

2 調査の目的

(1) 本市における課題

本市は健康寿命延伸都市・松本の創造を掲げている。市はこの度健康寿命延伸のための健康づくりを行う市民の皆様と、健康産業の創出を進める皆様と共に、健康増進と医療・介護、健康分野の新たな産業創出を支援する「松本ヘルス・ラボ」という組織を立ち上げています。広く市民に周知し、市民意識向上につながる取組が求められます。

(2) 調査の必要性

健康寿命延伸につなげていくために、松本ヘルスラボ会員の増員及び、松本ヘルスラボについて意識啓発を促進させる有効な取り組み事例を調査する必要がある。

(3) 調査項目

「健康手帳について」

3 調査地選定理由

松本ヘルスラボ会員の増員及び、松本ヘルスラボについて意識啓発を促進させ、健康寿命延伸につなげていく必要がある。健康増進・健康意識の向上を図るため、「健康手帳」という、特徴的な取組みをしている徳島市を選びました。

4 調査結果

(1) 実施日 平成 29 年 5 月 15 日

(2) 出席者 3名 近藤晴彦 上條美智子 勝野智行

(3) 成果・所感等

徳島市では、「まず8000歩・腹八文目でとくしましょう！」を合言葉に「からだ・栄養・運動」を3つの柱として健康づくりに関する事業を実施。この手帳には、糖尿病などの生活習慣病を予防することを目的に健康づくりに役立つ情報や健康審査結果記入欄などが掲載されています。保健師が訪問時、この手帳を見ながら市民に指導ができるのでとても有効な手帳であるという。利用者も分かりやすいとの声がある。健康教室にも活用している。取組経緯は、過去に徳島市では、糖尿病死亡率が県下でトップだったこともあり、この手帳を始めたという。松本市には、こうした取り組みはまだないという認識。今後の参考にしたい。

5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 240,930 円 (宿泊費 29,600 日当 9,000) x 3
交通費 41,390 x 2
交通費 39,110 x 1 土産代 3,240